

Funehiki High School News vol.98

◆同窓会総会

8月15日、ウェディングプラザ丸美において本校同窓会総会が開かれ、会長さんをはじめ、全国各地から同窓生が出席しました。総会のあと、記念撮影、懇親会が行われ、参加者は久しぶりの再会に旧交を温めていました。



◆情報処理技能検定試験 1 級に 33 人が合格

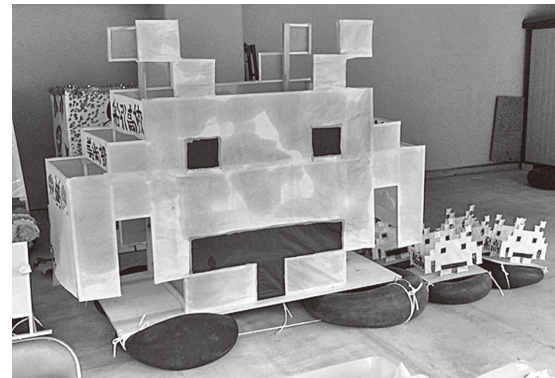
本校では、キャリアアップに向けた取り組みの一環として、各種の資格や検定の取得を奨励しています。このたび実施された日本情報処理検定協会主催の情報処理技能検定試験（表計算）において、本校ビジネスクラス3年生33人が1級に合格しました。放課後も検定試験対策に取り組んだ努力が実を結び、合格者数・合格率ともに過去最高となる素晴らしい成果です。



◆夏のイベントに参加

8月23日、JR船引駅前の栄町森公園で行われた「ふねひき夏まつり」に、本校よさこい部が参加しました。当日はあいにくの雨模様でしたが、生徒たちは記録的な猛暑の中で練習した成果を存分に発揮しました。（写真左）

同日に行われた「灯籠流しと花火大会」には、今年も本校美術部が灯籠を出品しました。今年の作品はゲームのキャラクターをモチーフにしたもので、製作に約1か月間取り組みました。その成果が実り、学生の部大会会長賞に輝きました。（写真右）



◆第7回 文化部発表会

本校文化部の活動の成果を発表する機会です。多くのご来場をお待ちしています。

日 時…10月11日（日） 開場 13:00 開演 14:00

場 所…田村市文化センター

内 容…ステージ発表（演劇部、よさこい部、吹奏楽部）

展 示（華道部、美術部、書道部、自然科学部）

実 演（茶道部）

◆授業を公開します

平成27年度「ふくしま教育の日 関連事業」として、11月6日に授業公開を行います。日頃から本校の教育活動へのご支援・ご協力に対する日頃の感謝の意味を込めて行いますので、多数のご参加をお待ちしています。



なぜ日本人たちは
昆虫が大好きなの？

Jenny Becker

ジェニー・ベッカーさん
（アメリカ合衆国
ミネソタ州出身）

海	を	越	え	て
英	語			
	指	導	助	手
ペ	ン	リ	レ	ー
			No.	28

この春から日本に住むようになって、興味深く感じていることがあります。それは、日本人たちは昆虫が大好きだということです。

先日、小学校の国際理解教育の一環で、「自然学習」の授業がありました。子どもたちに昆虫の英語名を教えたり、アメリカと日本の昆虫について、似ていることや違いを話したりしました。私は今、「カレン・スミス」と名付けたカブトムシを飼っていますが、アメリカにいた時は、昆虫を飼うなど考えたこともありませんでした。

私と母には、共通の大好きな昆虫がいます。トンボです。私の家族は園芸が好きなので、多くの虫がいつも庭にいました。私のアメリカの親友は、蝶が大好きです。

アメリカの暮らしの中で一般的に受け入れられている昆虫は、トンボ、蝶、ホタル、テントウムシなど一握りの種類です。それ以外は、あまり好まれていません。通常、アメリカ人が虫を見つけた時にまず思うのは、“（紙などで）押しつぶす”ことなのです。



アメリカでは一般に、昆虫が好きなのは、子どもか、昆虫研究者とされています。虫が話題になるのは、蚊やダニの駆除の時くらいです。昆虫のテーマパークがあるなんて、アメリカでは聞いたことがありません。アメリカにいる家族や友人に、カブトムシを飼っている話をしたら、不思議に感じたようでした。

一方、日本の友人や生徒に自分のカブトムシの話をすると、その反応は対照的です。カブトムシの名前を聞いてきたり、見せてほしいと言ってきたり…写真を見せただけで興奮する人もいます。

アメリカの子どもたちも、昆虫は好きなのです。でも、日本のように、夏に虫かごを肩からぶら下げている子どもは、ほとんど見られません。アメリカの子どもは、昆虫を捕まえても、持とうとしません。昆虫を飼う方法も知りません。私も子どもの頃、捕まえた昆虫はすぐに放していました。日本で見かけるような昆虫販売店は、アメリカでは見たことがないのです。

昆虫を捕まえた日本の子どもたちに、その昆虫のことを聞くと、彼らは目を輝かせながら答えてくれます。それを持たせてほしいと頼むと、もっと目を輝かせながら持たせてくれます。昆虫に夢中になっている子ども（男の子だけでなく女の子も！）を見ると、元気が出てきます。

私と昆虫の出会いはずいぶん昔ですが、その頃、昆虫はとても小さかったことを覚えています。ミネソタ州のトンボは、日本のよりもずっと小さいのです。

アメリカに帰ったら、今からとても楽しみにしていることがあります。日本での出来事を思い起こしながら、実家の庭にいる昆虫を眺めることです。その頃には、私も日本人たちと同じくらい、昆虫を大好きになっているでしょう。「どうしてそんなに昆虫が大好きなの？」という疑問を感じないくらいに。



福島県立船引高等学校 Tel…0247-82-1511 Fax…0247-82-5233
HP…<http://www.funehiki-h.fks.ed.jp> mail…school@funehiki-h.fks.ed.jp